

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防訓練は年2回の訓練の他に、スプリンクラーの取り扱いも知る。	消防訓練、年2回の他に、スプリンクラーの取り扱い方法を周知徹底する。	年2回の訓練の他、今回スプリンクラーの設置に伴い、取り扱い方法の伝達方法として、模造紙にパワーアップ方式で説明文を書いた。防火管理者を中心に取り扱い方法を学ぶ。	6ヶ月
2	29	地域との協働	地域の防災訓練に参加したり、行事に参加する事により、地域との交流を図る。	さざんかの防災訓練やさざんかの研修にも声掛けして、参加を促して交流を図る。	6ヶ月
3	13	研修会に出る人が決まってしまう。	研修会に全員参加する。	職員に参加したい、聞いてみたい講義を聞いた所、認知症の人の理解を深めたいとの意見があり、昨年は技術向上に力を入れたので、今年は認知症についての講義を増やしていく。	6ヶ月
4	33	これまで4件の看取りを経験したが、終末期の状態変化を察知出来、穏やかな終末期を送る事が出来る。	職員が、終末期を怖がることなく、家族、医師、看護師、職員との連携をとりながら心身のケアに努める。 ご本人の想いを察知し、悔いのないターミナルを過ごして頂く。	ターミナルについての研修会や、カンファの機会を増やして、職員の不安に答えていく。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。